

7. 災害調査

災害調査名	調査期間	調査内容	担当者
令和元年台風第 15 号に伴う強風による建築物等被害の現地調査	令和元年 9月10日 9月12日 9月13日 9月18日 9月22日 ～ 9月23日	<p>台風第 15 号の強風により被災した建築物等の被害状況を、工学的見地から把握することを目的として、千葉県市原市内については市原市役所での窓ガラス等の被害状況と発災後の応急対応状況を把握し、アメダス観測所で記録された最大瞬間風速が上位となった千葉県内の内房地域、東京都内の島嶼部を対象に、それぞれ木造建築物や低層の店舗等を中心に被害状況を把握した。その結果、以下を得た。</p> <p>主な観測値について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメダス観測所で観測された主な最大風速値を、建築基準法令に定める基準風速の定義（高さ 10m、地表面粗度区分Ⅱ）にしたがって換算した。換算値を基準風速と比較した結果、いずれの地点での換算値も基準風速を超えるものではなかった。 <p>千葉県市原市での被害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市原市役所では、第 2 庁舎と議会棟内で計 24 枚のガラスが破損したほか、屋内の天井などに数か所の漏水が生じた。第 2 庁舎では、南面入り口付近の 3 枚のガラスが破損したことで、庁舎内部に風が吹き込み、北面のガラスに破損被害が進展した。 <p>千葉県富津市、鋸南町、南房総市、館山市での住宅の被害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の被害形態として、窓ガラスの破損、屋根ふき材（瓦、スレート、アスファルトシングルを含む）の脱落、屋根の飛散、木造小屋組の飛散、外壁仕上げ材（ラスモルタル、サイディングを含む）の部分的な脱落・飛散等の被害がみられた。 ・以上のなかでも、比較的築年数が経ったと見られるもの、海岸沿いに立地するもの、構成部材に著しい腐朽・蟻害が認められるもの、接合具に劣化の可能性があるものなどが、選択的に比較的大きな被害を受けていた。一方、最近の台風被害や老朽化に伴って屋根を改修したと思われる住宅には、屋根ふき材がほぼ無被害のものもあった。 ・比較的築年数が浅いとみられる住宅は概して被害が小さいが、海岸沿いに立地するものについては屋根の被害もみられた。そこでは風上側の窓ガラス等が破損し、屋根が飛散していた。 ・建築途中のログハウスでは、大きく張り出して柱 2 本で支持された屋根版全体が飛散していた。 <p>千葉県富津市、鋸南町、南房総市、館山市での非住宅建築物等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低層店舗の被害形態として、屋外に面する建具や外壁の脱落・転倒、軒天井や外壁仕上げ材の脱落・飛散、木造小屋組の飛散等がみられた。また、軒天井が脱落して強風が侵入し、屋内の天井仕上げ材に被害が進展したと推測される事例もあった。 ・海岸沿いの鉄骨造の店舗では、鋼製部材が劣化して板厚が薄くなった状況がみられた。 ・海岸沿いの倉庫の倒壊、複数の地点での電柱の折損がみられた。 <p>東京都大島支庁神津島村、新島村での被害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神津島空港と新島空港にあるアメダス観測所で、風速計の周囲の状況を確認した。いずれについても空港で計測された風速と市街地に作用した風速が必ずしも一致しない可能性がある。 ・住宅、店舗、倉庫等に、外壁材や屋根ふき材の飛散事例がみられた。被 	喜々津仁密（国総研） 奥田泰雄 中島昌一 高館祐貴 槌本敬大 山崎義弘

災害調査名	調査期間	調査内容	担当者
		害を受けた建築物は、木造のほかに、RC+CB造又は組積造で屋根のみ木造であるものもあった。 ・新島村にある美術館では窓ガラスや美術作品の破損、老人介護施設ではシート状の屋根材のはく離と室外機の転倒がみられた。	
令和元年台風第15号に伴う強風による建築物等被害 現地調査	令和元年 9月10日 9月12日 9月13日 9月18日 9月22～23日	台風第15号に伴う強風によって千葉県内や東京都島嶼部を中心に大きな被害が発生した。建築研究所および国総研では被害の大きかった千葉県内(市原市、富浦町、鋸南町、館山市、南房総市)と東京都島嶼部(神津島、新島)で被害が生じた建築物等を対象に現地調査を実施した。千葉県市原市内の被害については、市原市役所での窓ガラス等の被害状況と発災後の応急対応状況を把握した。また、アメダスの観測点で記録された最大瞬間風速が上位となった千葉県内の内房地域、東京都内島嶼部については木造建築物や低層の店舗等の屋根ふき材や外壁材、開口部及び屋根小屋組などの被害状況を把握した。これらの調査結果を取りまとめた報告を建築研究所HP上で発表した。 http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/topics/2019/typhoon15.pdf	奥田泰雄 槌本敬大 中島昌一 山崎義弘 高舘祐貴 喜々津仁密 (国総研)
令和元年台風第15号及び第19号に伴う強風によるゴルフ練習場の鉄柱の被害 現地調査	令和元年 9月10日 10月17日	台風第15号では市原市、台風第19号では横浜市のゴルフ練習場の鉄柱倒壊、折損被害が発生した。本省住宅局の要請を受け、国総研と合同で市原市都市部建築指導課及び横浜市建築局建築指導部建築指導課の協力のもと被害状況について工学的見地から現地調査を実施した。これらの調査結果を取りまとめた報告を建築研究所HP上で発表した。 http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/topics/2019/typhoon15-19.pdf	高舘祐貴 喜々津仁密 (国総研) 石原直 (国総研)
令和元年10月12日に千葉県市原市で発生した建築物等の竜巻被害 現地調査	令和元年 10月15日	令和元年度10月12日に台風第19号の接近に伴って千葉県市原市で発生した竜巻被害について、建築物等の被害状況や公共建築物の被災後の対応状況等を把握することを目的に現地調査を実施した。発災後の住宅の被害状況は外観調査だけでなく住民へのヒアリングによって把握した。これらの調査結果を取りまとめた報告を建築研究所HP上で発表した。 http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/topics/2019/tornado_ichihara.pdf	中島昌一 山崎義弘 高舘祐貴 喜々津仁密 (国総研)
北海道札幌市厚別区事務所火災現地調査	令和2年 1月11日 ～ 1月12日	令和元年10月29日未明に発生した地上10階・地下2階の事務所の火災である。4階事務室で出火してアトリウムを通じて上階に延焼した。本省住宅局の要請を受け、国総研と合同で被災状況調査および所轄の消防署へのヒアリングを行った。	鍵屋浩司 鈴木淳一 (国総研)
神奈川県逗子市池子で発生した土砂崩れに関する現地調査	令和2年 2月7日	令和2年2月5日に神奈川県逗子市池子の斜面で土砂崩れが発生し、歩道を通行中の1名が死亡した。国土交通省からの依頼を受け、国土技術政策総合研究所と合同で2月7日に現地調査を行い、現地状況および周辺建物への影響について国土交通省に報告した。	大村早紀 柏尚稔 (国総研)